

部局名	子ども部	所属名	子育て支援課	所属長名	澤村 康廣	電 話	483-1151 内線2270
-----	------	-----	--------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3174		事務事業名称	児童会館運営事業					短縮コード	経常	3174	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	06	児童福祉施設費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市児童会館条例，八千代市児童会館条例施行規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和48年，コミュニティー施設を求める地域住民の要望により開始し，学童保育所や幼児教室の実施場所を提供している。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして						
社会環境の変化により，子どもの居場所が減ってきているので，児童館設置への要望は年々強まっている。					大項目（節）	02	社会福祉						
					中 項 目	01	児童福祉						
					小項目（施策）	02	児童の健全育成の推進						
					細 項 目	02	子どもの居場所の整備						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		昭和48年4月 ～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市内に居住する満3歳以上満15歳未満の者。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： キッズルームの開催，児童会館の使用許可，建物管理, 管理指導員の労務管理。							
	※平成19年度に計画していること： キッズルームの開催，児童会館の使用許可，建物管理, 管理指導員の労務管理。							
意図 （何を狙っているのか）	児童の心身の向上と健全育成を図る。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	地域における児童健全育成活動の拠点として, 子育て支援を行う。							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市内に居住する満3歳以上満15歳未満の者の数	人	22,145	22,638	22,638	23,015	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	建物の修繕額	円	990,276	160,000	156,240	200,000	
	指標2	管理指導員の雇用数	人	7	7	7	7	
	指標3							
成果指標	指標1	キッズルーム利用者数	人	2,038	2,500	1,548	2,500	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1	保育園待機児童数	人			99		
	指標2	子どもが心身ともに健やかに発育発達していると感じている	%			55.3		
	指標3	ファミリー・サポート・センター登録者数	人			1,039		

コード		3174	事務事業名称	児童会館運営事業			所属名	子育て支援課
			単位	１７年度	１８年度		１９年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	14,395	9,711	9,543	10,019	
		その他	千円	0	0	0	0	
	主な事業費の内訳			賃金 5,925,870円	賃金 5,950,000円	賃金 5,932,770円	賃金 6,196,600円	
	人件費(B)			千円	820.1	696.8	696.8	
トータルコスト(A)+(B)			千円	15,215.1	10,407.8	10,239.8	10,715.8	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	子供の居場所としての児童会館は、上位の施策に結びついているが、児童の健全育成の推進に寄与するため、児童館の建設を検討する。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	今後とも子供の居場所として、児童会館の運営事業は継続する。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	子どもの健全育成と居場所の確保を目的としているため民営化はなじまない。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	当初と変化はない為、現状のままでよい。					
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	管理指導員は既に臨時職員で対応しており、必要最小限の経費で運営しているため。					
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
				2		実施主体 (所管部署)			
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☐ ない						

コード	3174	事務事業名称	児童会館運営事業				所属名	子育て支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			社会環境の変化により、子どもの居場所が減少傾向にあり、今後も引き続き事業を継続する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			管理指導員は臨時職員で対応し、必要最小限の経費で運営している。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
本市の児童会館は児童福祉法に基づく児童館ではないため、児童厚生員による児童の健全育成を図るための適切な遊びを教えることができていないので、児童館の設置が望まれている。									

所属長コメント	今後も引き続き、地域における児童健全育成の拠点として子育ての支援を行う。								
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									